

山本卓ゼミ(大学院)のご案内

ご挨拶

本学は、日本唯一の不動産学部を有し、大学院では日本唯一の不動産学専攻の博士学位を取得することが可能です。海外ではプロフェッショナルと認められる要件として、博士学位の有無が重要な位置を占めます。近年、経済活動のボーダレス化が進展し、日本においても、専門家として認識されるには、博士学位の取得が求められてきています。

博士学位の取得は、人生の可能性や選択肢を増やします。私自身は実務家出身で、組織人としての先行きが見えた40代に社会人大学院に在籍し、多忙な実務と並行し、博士学位を取得することができました。まさに「人生の再チャレンジ」です。学位取得後の人生の変化を実感した一人です。



博士学位を取得し、人生を好転させたいと希望している人を受け入れ、私自身の社会人大学院生としての経験に基づいた支援をしていきたいと思っています。本資料では、私のゼミの関係者の活動状況をお知らせし、関心を持つ皆様の参考にして頂きたく考えています。遠慮なくお問い合わせください。

明海大学不動産学部教授

山本 卓(やまもと たかし)



古川 傑（ふるかわ すぐる）

2022年明海大学大学院不動産学研究科博士後期課程修了、博士（不動産学）

明海大学不動産学部非常勤講師、同不動産研究センター研究員

【主な論文】古川傑・山本卓(2021)「不動産会計適用における外部鑑定人の採用動機の検証」『資産評価政策学』22(1),pp.89-98.、古川傑・山本卓(2021)「環境経営促進企業の企業特性と環境リスクに対する投資家評価 - 遊休不動産の活用状況を踏まえて - 」『年報財務管理研究』(32),pp.90-112.、古川傑・山本卓(2018)「遊休不動産の有用性の検証 - 東証1部上場企業製造業の減損データに基づいた分析を中心に - 」『証券アナリストジャーナル』(56)2,pp.68-79.等。

【主な受賞歴】日本不動産学会湯浅賞・博士論文部門(2022年)、都市住宅学会著作賞(2022年)、日本不動産学会著作賞・実務部門(2018年)、日本財務管理学会学会賞・論文の部(2018年)

【科研費実績】

「KAMの記載事項と減損開示情報の情報価値抽出による新たな企業不動産戦略への応用」若手研究(23K12526)、2023-2026,研究代表者



松永力也(まつなが りきや)

2024年明海大学大学院不動産学研究科博士後期課程修了、博士(不動産学) 不動産鑑定士、税理士、アプレイザルタックスラボ(株)代表、琉球大学非常勤講師、那覇地方裁判所評価委員・調停委員、1987年日本大学法学部法律学科卒業、2002年琉球大学大学院人文社会学研究科法学(民法)修士課程修了、2007年琉球大学大学院総合社会システム研究科会計学修士課程修了。一般財団法人日本不動産研究所に、不動産鑑定士として5年間勤務した後、1999年独立開業。

【主な論文】

松永力也(1998)「定期借地権制度の普及予測」『不動産鑑定』第35巻 第5号,pp. 59-72.

松永力也・山本卓(2022)「配偶者居住権制度が不動産担保融資に与える影響—担保不動産に発生する遺産分割に係る損失の検証を中心に—」『年報財務管理研究』第33号,pp.26-43.等

【主な受賞歴】

受賞論文は1997年沖縄県・琉球新報社共催の「国際都市構想への提言21世紀の沖縄振興策」において優秀賞を受賞。2022年都市住宅学会著作賞受賞



片川卓也（かたかわ たくや）

明海大学大学院不動産学研究科博士後期課程3年次在籍

明海大学不動産学部非常勤講師

2019年立教大大学院ビジネスデザイン研究科博士前期課程修了。大手不動産会社、大手金融機関を経て、現在は社会人の学びの支援など社会教育に尽力し実務に精通している。不動産取引、ファイナンス、経営学を研究テーマとしている。

【主な論文】

片川卓也・山本卓(2023)「消費者の住宅ローン需要と金融リテラシーの必要性に関する研究－不動産業者が消費者に及ぼす影響と満足度に焦点を当てて－」『年報財務管理研究』第34号,pp.1-20.

片川卓也・山本卓(2023)「不動産学部生の金融リテラシーに関する基礎的研究－アンケート調査を踏まえた金融教育のあり方の検証を中心に－」『明海大学不動産学部論集』第33号等がある。



田中嵩二（たなか けんじ）

明海大学大学院不動産学研究科博士後期課程2年次在籍

2001年中央大学大学院法学研究科博士前期課程修了、修士（法学）

株式会社Kenビジネススクール代表取締役社長

【主な論文】田中嵩二・山本卓(2024)「ESG不動産投資とその促進策～優遇金利政策を中心に～」『明海大学不動産学部不動産学論集』(34)

【主な研究執筆歴】

2004年に不動産法務を中心とした教育機関として設立したKenビジネススクールにおいて、宅地建物取引士登録実務講習（試験合格後の実務研修）実施機関としてその公式テキストを自ら執筆して国土交通大臣の指定を受けている。公益財団法人「日本賃貸住宅管理協会」において賃貸不動産経営管理士資格の講師を務め、一般社団法人「新しい都市環境を考える会」においては投資不動産販売員資格制度の創設及び公式テキスト執筆、試験問題の監修を行っている。業界紙である「全国賃貸住宅新聞」「楽待不動産投資新聞」において不動産法務に関する記事を毎週連載している。

お問合せ先

本ゼミに関心のある方は以下の連絡先にお問合せください。メール、対面でのご相談が可能です。

連絡先メールアドレス `tamtak@meikai.ac.jp`

指導教員である山本卓教授の詳細な経歴や研究業績は以下をご参照ください。なお、指導可能領域は、不動産分野の経営・財務・会計全般、不動産鑑定評価、公共事業にかかる損失補償、固定資産税評価等です。

[山本卓 \(Yamamoto Takashi\) - マイポータル - researchmap](#)